

要確認

教育委員会
が中心

38項目
(短期：16項目)

※ 教育委員会が中心になって取り組む事項（38項目）

No.	取組事項	目標期間
1. 人材の確保		
1	教員業務支援研修等の実施計画	中期
2	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの適任確保	中期
3	部活動指導員の適任確保	中期
4	学習支援員・特別支援教員・特別支援教員の適任確保	中期
5	ICT支援員の適任確保	中期
6	小中学校における専科指導員・指導員等の配置状況	中期
7	教員のなり手の確保	長期
8	長幼間関係の改善	中期
9	メンタルヘルス不調の予防に向けた取組の実施	中期
11	職業支援に向けた取組の実施	中期
12	校務分掌の負担軽減	中期
13	学校に対する適切な委託等に関する取組の実施	中期
14	同僚員有資格者採用の促進、月80時間、年間360時間以上の教職員の確保計画	短期
2. 教育DXの推進		
15	「GIGAスクール構想」の下での校務DX（文部科学省）の取組計画の検討	短期
16	県立学校における年間取組計画とシラバスの見直し	短期
17	ICTを応用した効果的・効率的な取組の推進	短期
18	各教育委員会が学校へ依頼する調査・報告等の整理・削減	短期
19	関係団体等への各種コンクール等の取組・参加方法等の見直しの実施	中期
20	県立学校の新しい入試制度に定めるICTを活用したシステムの構築	中期

No.	取組事項	目標期間
21	教員支援システムを効果的に活用できる環境整備	中期
22	学校教員会の取組方法の見直し	中期
23	学校教員会の内容や業務等の見直し	中期
24	小中学校における教員会の取組方法等の取組・方法等の見直し	短期
25	小中学校における学習者・学習者支援員の取組方法・Webシステム入力業務の見直しの検討	中期
3. 業務の役割分担・適正化		
28	教育職員の間際内・自校等期間の上級に関する教育委員会事務局の体制	短期
29	年度末の業務見直し及び新年度の準備期間の確保	短期
30	同僚員研修等の取組の見直し	短期
31	「教育・福祉・PTA」関係団体等との連携に関する取組の推進	短期
32	具体的な取組計画をホームページ等で情報発信する等、取組の透明性の確保	短期
33	外部団体主催の検定試験の実施方法等の見直し	短期
34	小規模の自治体や教員等の見直し	中期
35	取組後から期間などにおける見直し、見直し後が実施されたときの対応の適正化	中期
36	取組後の大会等における取組方法等の検討・依頼	短期
37	部活動の地域活性化に関する取組の推進	中期
38	「公立ニッポンスクール」学校運営協議会制度の取組・取組の推進	長期
44	保護者、地域、自治体等との連携体制の構築	短期
46	教員間の地域行事等への取組等の見直し	短期
50	学校における部活動指導員の工夫	短期

※ 教育委員会が学校と共に取り組むものも含まれています。

要確認

学校が中心

23項目
(短期：16項目)

※ 学校が中心になって取り組む事項（23項目）

No.	取組事項	目標期間
1. 人材の確保		
8	長幼間関係の改善	短期
9	学習者支援員等の取組	短期
14	関係団体有資格者採用の促進、月80時間、年間360時間以上の教職員の確保計画	短期
2. 教育DXの推進		
15	「GIGAスクール構想」の下での校務DX（文部科学省）の取組計画の検討	短期
16	県立学校における年間取組計画とシラバスの見直し	短期
24	校務DX（校務支援システム）の活用等の取組	中期
27	取組後の見直し	中期
3. 業務の役割分担・適正化		
29	年度末の業務見直し及び新年度の準備期間の確保	短期
33	外部団体主催の検定試験の実施方法等の見直し	短期
34	小規模の自治体や教員等の見直し	中期
35	取組後から期間などにおける見直し、見直し後が実施されたときの対応の適正化	中期
39	取組後の大会等における取組方法等の検討・依頼	短期

No.	取組事項	目標期間
40	学校行事や会議等の在り方等の見直しの推進	短期
41	校務分掌の見直しの推進	短期
42	関係団体等の取組の見直し	短期
43	学校におけるPTA活動の内容や取組方法等の見直し	短期
44	保護者、地域、自治体等との連携体制の構築	短期
45	市町村立小中学校における取組に関する取組等の見直し	中期
46	教員間の地域行事等への取組等の見直し	短期
47	取組後の見直し	中期
48	取組を通じた新たな取組の推進（目標）の工夫	短期
49	取組後の適切な評価等の取組	短期
50	学校における部活動指導員の工夫	短期

※ 学校が教育委員会と共に取り組むものも含まれています。

どのように、推進するのか？



どのように、推進するのか？



時間と機会を創出するためには？

『私たちのピース・リスト2023』

<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>



取組期間は？

III 取組期間

スケジュール	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
本プラン	集中取組期間(3年)		
	初年度評価・検証	中間年度評価・検証	最終年度評価・検証

【文部科学省】第4期教育振興基本計画

【基本施策】学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進

これら一連の施策を安定的な財源を確保しつつ、令和6年度から3年間を集中改革期間とし、スピード感を持って、令和6年度から小学校高学年の教科担任制の強化や教員業務支援員の小・中学校への配置拡大を速やかに進めるとともに、令和6年度中の給付法改正案の国会提出を検討するなど、少子化が進展する中で、複雑化・多様化する課題に適切に対応するため、計画的・段階的に進める。

- ★ 中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会 報告（令和6年5月13日）
- 『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（審議のまとめ）

～「学校における働き方改革」の取組目標～
『私たちのピース・リスト2023』

ここに示した一つの取組目標は、私たちの「学校における働き方改革」の「ワン・ピース」(理念)の一つとして掲げられています。
児童生徒の成長や発達を支援する教職員が「働きやすい」「働きがい」「心身の健康」を十分に実現できる学校（職場）づくりに向けて、関係者一人一人が「これらを自分事として受け止め、その役割と責任の下、各々の取組を着実に進めること」で「学校における働き方改革」は進められています。
各市町村や各学校でもそれぞれの「ワン・ピース」を集めて、関係者で共有し、それぞれが担う「学校における働き方改革」を進めましょう！

令和6(2024)年3月
沖縄県教育委員会

- 『私たちのピース・リスト2023』は、令和5年度始めに県内公立学校の全教職員を対象として実施したアンケート結果等から洗い出した課題に対して、一つ一つ取組事項を、短期・中期・長期の目標として設定したものです。
- 短期は令和6年度まで、中期は令和8年度まで、長期は令和9年度以降としています。

『私たちのピース・リスト2023』
を活用し、自分事として取り組む

■ どのように、推進するのか？

■ どのように、推進するのか？

◆ どうやって、評価するの？

◆ どうやって、検証するの？

IV 評価

ASSESSMENT

「3軸・6視点」に基づいて、次の成果指標を設定し、毎年度、評価する。

- 成果指標 1 学校評価（教職員対象）の評価項目に、下記の「3軸・6視点」に関する5項目を位置づけ、肯定的回答の割合を成果指標とする。
- 成果指標 2 「3軸・6視点」に関する管理職アンケート調査を実施し、肯定的回答の割合を成果指標とする。
- 成果指標 3 客観的計測による在校等時間を集計し、教職員の長時間勤務者の人数と割合を成果指標とする。

「3軸・6視点」に関する5項目（学校評価に設定）

- ☑ 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。
- ☑ 個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています。
- ☑ 一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。
- ☑ より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。
- ☑ 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。

学校評価に設定

V 検証

VERIFICATION

成果指標の目標値

成果指標1、成果指標2の目標値

全教職員の「3軸・6視点」の実感向上を目指して、令和8年度（2026年度）末までに
 ● 肯定的回答の割合を80%以上とする。

成果指標3の目標値

教職員の心身の健康を守るために、全教職員が時間外在校等時間上限（月45時間、年360時間）以内での勤務を目指して、令和8年度（2026年度）末までに
 ● 時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロとする。
 ● 時間外在校等時間が月45時間、年360時間を超える教職員の年平均割合を令和5年度の50%以下とする。（県教育委員会設定部分）
 ※市町村教育委員会においては、地域の実情に応じて下線部分（県教育委員会設定部分）を変更可とする。

■ 学校における働き方改革の着実な推進に向けて…

【本日の流れ】

◆ 沖縄県教育庁HPに動画資料等も掲載！

- 解説資料（研修用動画等）
- みんなの学校！ピースフル・プラン（解説）
- 〈解説動画〉
 - ▶ みんなの学校！ピースフル・プラン（全体版）（17分42秒）[（外部リンク）](#)
 - ▶ ※（全体版）分冊1（はじめに、方針等）（10分19秒）[（外部リンク）](#)
 - ▶ ※（全体版）分冊2（推進体制等、地域・保護者の皆様へのお願い）（4分28秒）[（外部リンク）](#)
 - ▶ ※（全体版）分冊3（Q&A、おわりに）（2分54秒）[（外部リンク）](#)
- 〈解説資料〉
 - 📄 みんなの学校！ピースフル・プラン（解説）（PDF 4.5MB）
- 私たちのピース・リスト2023（解説資料）
- 〈解説動画〉
 - ▶ 私たちのピース・リスト2023（7分29秒）[（外部リンク）](#)
- 〈解説資料〉
 - 📄 私たちのピース・リスト2023（解説）（PDF 3.9MB）



沖縄県公立学校働き方改革推進計画「みんなの学校!ピースフル・プラン」(全体版)



「学校における働き方改革」の取組目標『私たちのピース・リスト2023』



<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>

1.学校における働き方改革は、

- どこを目指すのか？
- なぜ、推進するのか？

2.学校における働き方改革の着実な推進に向けて…

- どのように、推進するのか？

■ 集中取組期間（令和6～8年度）のイメージ

「子供たちへのより良い教育」を行っていくことができる教育環境を整える
 ☞ 児童生徒と教職員のウェルビーイングの向上

【令和8年度】 ☞ 最終年度の評価・検証

『私たちのピース・リスト2023』

★ 中期の取組目標（24項目）の完遂（最終年度）

○ 長期の取組目標の実施の継続

【令和7年度】 ☞ 中間年度の評価・検証

『私たちのピース・リスト2023』

◎ 中期・長期の取組目標の実施の継続

【令和6年度】 ☞ 初年度の評価・検証

『私たちのピース・リスト2023』

★ 短期の取組目標（24項目）の完遂（最終年度）

○ 中期・長期の取組目標の実施

★ 成果指標
 「3軸・6視点」の実感の向上

○ 学校評価、管理職アンケート・肯定的回答の割合を80%以上

○ 時間外在校等時間
 ・月80時間を超える教職員をゼロ

・月45時間、年360時間を超える教職員の年平均割合を令和5年度の50%以下

教職員が「動きやすさ」「動きがよい」「心身の健康」を十分に実感できるためには、「時間と機会を創出する」ことが必要である。
 “時間と機会を創出する”ための柱

- ☑ 人材の確保
- ☑ 教育DXの推進
- ☑ 業務の役割分担・適正化

☞ 『私たちのピース・リスト2023』

◆ 令和6年度 重点的取組

「みんなの学校！ピースフル・プラン」の着実な推進 ☞ 「私たちのピース・リスト2023」の活用

★ 『私たちのピース・リスト2023』における「教育委員会が中心となって取り組む事項38項目」

No. 取組事項	※青文字：短期の取組目標	No. 取組事項	※青文字：短期の取組目標
1 教員業務支援員等の適正配置		22 学校給食費の徴収方法の見直し	
2 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの適正配置		23 学校徴収金の内容や業務等の見直し	
3 部活動指導員の適正配置		24 小中学校における県独自の学力調査等の実施・方法等の見直し	
4 学習支援員・特別支援教育支援員の適正配置		25 小中学校における全国学力・学習状況調査の自校採点・Webシステム入力業務の見直しの検討	
5 ICT支援員の適正配置		28 教育職員の時間外在校等時間の上限に関する教育委員会規則等の制定	
6 小学校における専科指導担当教師等の配置拡充		29 年度末の事務処理及び新年度の準備時間の確保	
7 教員のなり手の確保		30 初任者研修等の体系の見直し	
8 長時間勤務の改善		31 校長会・教頭会・PTA等関係団体との学校における働き方改革の推進に関する意見交換等の場の設定	
10 メンタルヘルス不調の予防に向けた取組の充実		32 具体的な取組内容をホームページ等で情報発信する等、好事例の横展開の推進	
11 復職支援に向けた体制の充実		33 外部団体主催の検定試験の実施方法等の見直し	
12 校務分掌の負担軽減		34 小動物の世話や散水の見直し	
13 学校に対する過剰な要求等に対応する支援体制の構築		35 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応の適正化	
14 時間外在校等時間月45時間、月80時間、年間360時間以上の教職員の状況把握		36 部活動の大会等の在り方・運営方法等の検討・依頼	
15 「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（文部科学省）の各項目の検討		37 部活動の地域移行に係る取組の推進	
16 県立学校における年間指導計画とシラバスの見直し		コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）設置と地域学校協働	
17 ICTを活用した効率的・効果的な職員研修の推進		38 活動との一体的推進の検討	
18 各教育委員会から学校へ依頼する調査・報告等の整理・削減		46 保護者、地域、首長部局等との連携協働体制の構築	
19 関係団体等への各種コンクール等の周知・募集方法等の見直しの依頼		46 教職員の地域行事等への動員等の見直し	
20 県立学校の新しい入試制度に係るICTを活用したシステムの構築		50 学校における部活動指導体制の工夫	
21 校務支援システムを効率的・効果的に運用できる環境整備			

◆ 令和6年度 重点的取組

「みんなの学校！ピースフル・プラン」の着実な推進 ☞ 「私たちのピース・リスト2023」の活用

★ 『私たちのピース・リスト2023』における「教育委員会が中心となって取り組む事項38項目」

☞ 各取組事項のうち、関連性が高い項目を取りまとめ、関係各課が連携・協働して取り組めるよう、6つの重点項目として整理

青太字数字は短期の取組目標

重点項目	課題	ピース・リスト2023
1 メンタルヘルス対策の推進	▲ 精神疾患を理由とした退職者数の増加等、メンタルヘルス対策への対応が必要	8、10、11、14、28
2 部活動による教職員の負担軽減	▲ 教職員アンケート結果の意見等から部活動顧問や大会引率等の負担軽減が必要等、部活動に関する対策を推進が必要	3、36、37、50
3 教育DXの着実な推進	▲ 「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（文科省）の回答結果や教職員アンケート結果等から、クラウド環境や校務のペーパーレス化等、教育DXを推進する環境整備が必要	5、15、16、18、19、20、21、22、23、32
4 学校問題解決支援体制の構築	▲ 新規モデル事業（文科省）である学校問題解決支援事業の実施に向けた各課の連携体制の構築が必要	2、13、35
5 学校・家庭・地域との連携分担	▲ 学校・家庭・地域の連携・協働に向けて、コミュニティ・スクールの推進等、各課の連携体制の構築が必要	31、33、34、38、44、46
6 教育の質の向上を図る環境整備	▲ 令和の日本型学校教育の実現に向けて、各課が連携して教育の質の向上を図る環境整備が必要	1、4、6、7、12、17、24、25、29、30

◆ 令和6年度 重点的取組

「みんなの学校！ピースフル・プラン」の着実な推進 ☞ 「私たちのピース・リスト2023」の活用

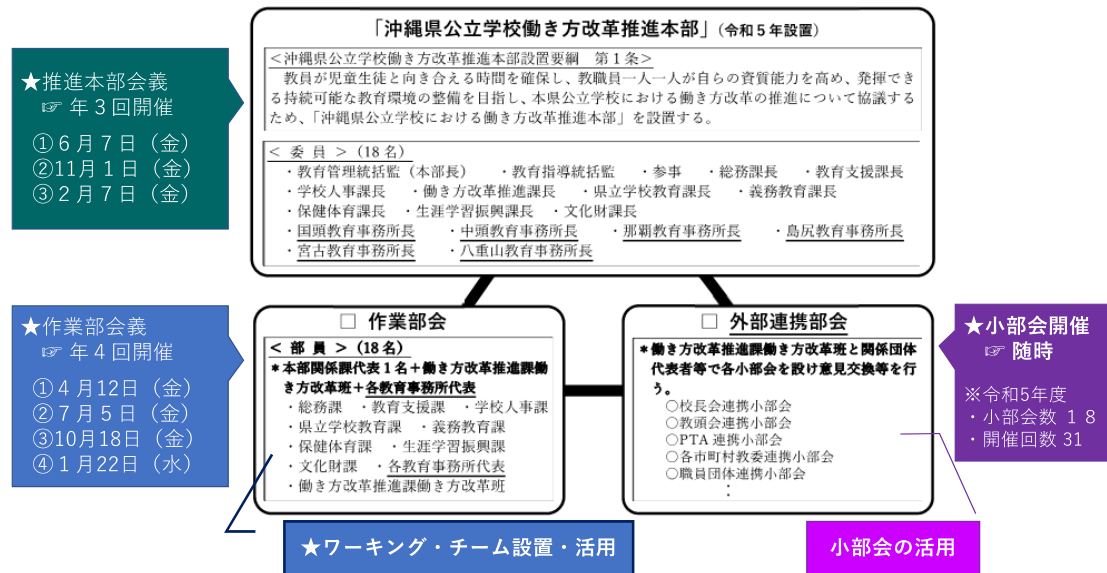
重点項目

- 1 メンタルヘルス対策の推進
- 2 部活動による教職員の負担軽減
- 3 教育DXの着実な推進
- 4 学校問題解決支援体制の構築
- 5 学校・家庭・地域との連携分担
- 6 教育の質の向上を図る環境整備

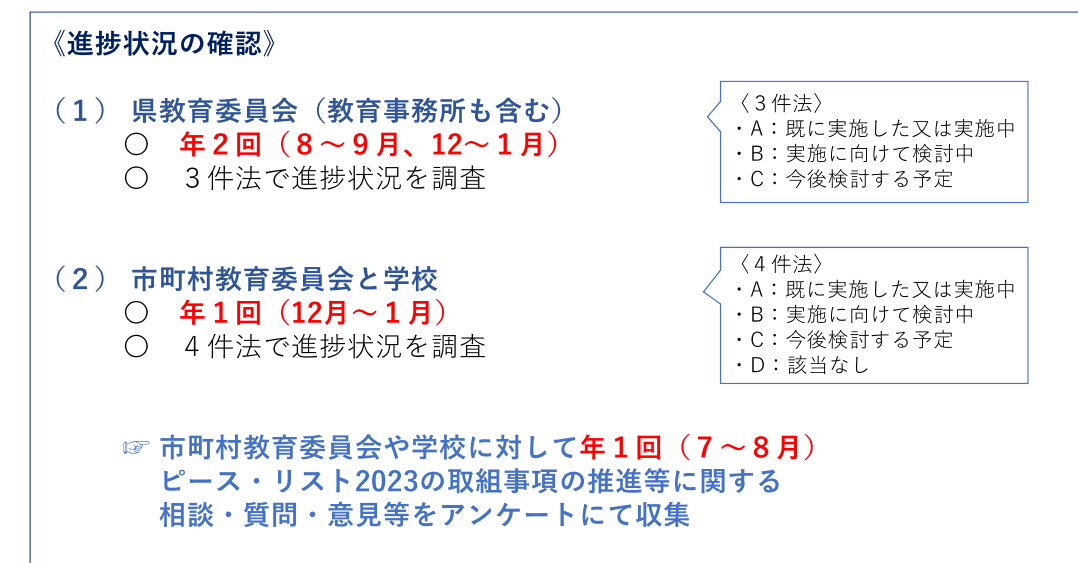
推進方法

- 【1】働き方改革推進本部会議・作業部会・外部連携部会の効果的な運営
- 【2】『私たちのピース・リスト2023』の進捗管理
 - 実践内容
 - ① ワーキング・チーム設置（作業部会内）と活用
 - ② 小部会（外部連携部会）の活用
 - ③ 情報発信、好事例の横展開
 - ④ 学校訪問 ※ 他課の学校訪問等と連携
 - ⑤ 各種会議等との連携・協働
 - ⑥ 学校における働き方改革推進関連事業の調整

● 推進方法【1】働き方改革推進本部会議・作業部会・外部連携部会の効果的な運営



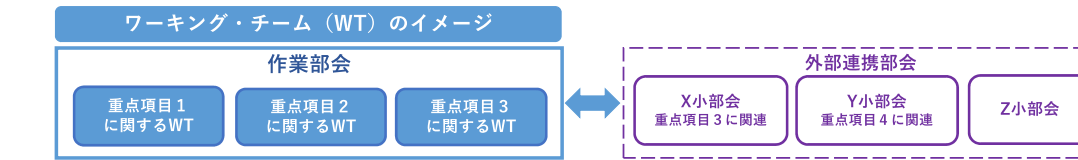
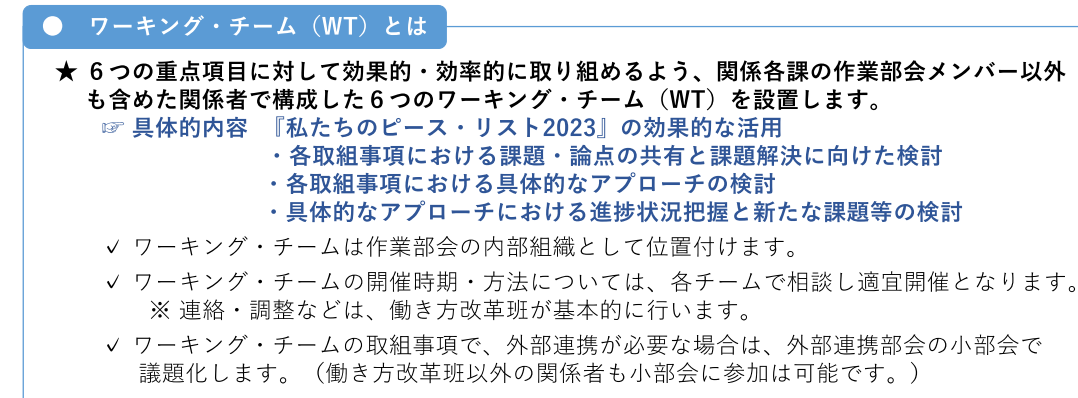
● 推進方法【2】『私たちのピース・リスト2023』の推進管理



● 実践内容 ①~⑥ (一覧)

実践内容	具体的内容
① ワーキング・チーム(WT)の設置・活用	・『私たちのピース・リスト2023』の効果的な活用 各取組事項における課題・論点の共有と課題解決に向けた検討 各取組事項における具体的なアプローチの検討 具体的なアプローチにおける進捗状況把握と新たな課題等の検討
② 小部会(外部連携部会)の活用	・目標確認と課題の共有と課題解決に向けた検討 ・学校・家庭・地域・行政の連携分担の相談・検討 ・具体的な連携・協働の取組推進に向けた相談・検討
③ 情報発信、好事例の横展開	・好事例紹介の強化(月1回程度HPで具体的な実践事例紹介) ・各種会議での情報提供・情報収集
④ 学校訪問 ※ 他課の学校訪問等と連携	・管理職との意見交換・相談・助言 ☞ 「3軸・6視点」による学校運営、各取組実践とその進捗状況等 ・相談(困り感)、要望等の意見収集 ・好事例紹介と取組状況等の情報収集
⑤ 各種会議等への参加	・課題共有と相談・意見交換、理解醸成 ・課題解決に向けた検討と連携協働・支援体制の構築 ・好事例紹介や好事例創出
⑥ 学校における働き方改革推進関連事業の調整	・関係各課との相談・調整 ☞ 『私たちのピース・リスト2023』との関連の明確化

● 実践内容 ①ワーキング・チーム(WT)の設置・活用



● 実践内容 ①ワーキング・チーム（WT）の設置・活用

ワーキング・チーム	No.	取組事項（『私たちのピース・リスト2023』）	※青文字：短期の取組目標
WT1 メンタルヘルス 対策の推進	8	長時間勤務の改善	
	10	メンタルヘルス不調の予防に向けた取組の充実	
	11	復職支援に向けた体制の充実	
	14	時間外在校等時間月45時間、月80時間、年間360時間以上の教職員の状況把握	
WT2 部活動による 教職員の負担軽減	28	教育職員の時間外在校等時間の上限に関する教育委員会規則等の制定	
	3	部活動指導員の適正配置	
	36	部活動の大会等の在り方・運営方法等の検討・依頼	
	37	部活動の地域移行に係る取組の推進	
	50	学校における部活動指導体制の工夫	
WT3 教育DXの着実な 推進	5	ICT支援員の適正配置	
	15	「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（文部科学省）の各項目の検討	
	16	県立学校における年間指導計画とシラバスの見直し	
	18	各教育委員会から学校へ依頼する調査・報告等の整理・削減	
	19	関係団体等への各種コンクール等の周知・募集方法等の見直しの依頼	
	20	県立学校の新しい入試制度に係るICTを活用したシステムの構築	
	21	校務支援システムを効率的・効果的に運用できる環境整備	
	22	学校給食費の徴収方法の見直し	
	23	学校徴収金の内容や業務等の見直し	
	32	具体的な取組内容をホームページ等で情報発信する等、好事例の横展開の推進	

57

● 実践内容 ①ワーキング・チーム（WT）の設置・活用

ワーキング・チーム	No.	取組事項（『私たちのピース・リスト2023』）	※青文字：短期の取組目標
WT4 学校問題解決支援 体制の構築	2	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの適正配置	
	13	学校に対する過剰な要求等に対応する支援体制の構築	
	35	放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応の適正化	
WT5 学校・家庭・地域 との連携分担	31	校長会・教頭会・PTA等関係団体との学校における働き方改革の推進に関する意見交換等の場の設定	
	33	外部団体主催の検定試験の実施方法等の見直し	
	34	小動物の世話や散水の見直し	
	38	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）設置と地域学校協働活動との一体的推進の検討	
	44	保護者、地域、首長部局等との連携協働体制の構築	
	46	教職員の地域行事等への動員等の見直し	
WT6 教育の質の向上を 図る環境整備	1	教員業務支援員等の適正配置	
	4	学習支援員・特別支援教育支援員の適正配置	
	6	小学校における専科指導担当教師等の配置拡充	
	7	教員のなり手の確保	
	12	校務分掌の負担軽減	
	17	ICTを活用した効率的・効果的な職員研修の推進	
	24	小中学校における県独自の学力調査等の実施・方法等の見直し	
	25	小中学校における全国学力・学習状況調査の自校採点・Webシステム入力業務の見直しの検討	
	29	年度末の事務処理及び新年度の準備時間の確保	
	30	初任者研修等の体系の見直し	

58

【参考1】働き方改革推進本部会議・作業部会の主な議題（日程含む）

日程	作業部会	働き方推進本部会議
令和6年4月12日（金） 10:30～11:50	◆ 第1回 ✓ 本年度の取組内容等の共通理解 ✓ WT、小部会の運営等の提案 ✓ 各課の取組内容と課題 ✓ 働き方改革推進関連事業について	■ 第1回 ✓ 本年度の重点項目等の共通理解 ✓ 各課・教育事務所の取組状況の報告 ✓ ピースフル・プランの着実な推進について ✓ 働き方改革関連事業の概要について
6月7日（金） 10:30～11:50		
7月5日（金） 10:30～12:00	◆ 第2回 ✓ 各課、WT、小部会、ピース・リスト2023の進捗確認 ✓ 働き方改革推進関連事業について	
10月18日（金） 10:30～12:00	◆ 第3回 ✓ 上半期の長時間勤務状況分析 ✓ 各課、WT、小部会の進捗状況報告 ✓ ピース・リスト2023の進捗確認	
11月1日（金） 10:30～12:00		■ 第2回 ✓ 各課・教育事務所等の取組状況の報告 ✓ ピース・リスト2023の進捗状況（県庁）報告 ✓ 上半期の長時間勤務の状況報告 ✓ 学校評価実施時期、R7学校閉庁日の決定
令和7年1月22日（水） 13:00～15:00	◆ 第4回 ✓ 当初年度の管理職、学校評価（一部）結果分析 ✓ ピース・リスト2023（短）の取組状況報告 ✓ ピース・リスト2023（中・長）の進捗確認 ✓ 次年度に向けた重点取組についての検討	
2月7日（金） 10:30～12:00		■ 第3回 ✓ 当初年度の管理職・学校評価の結果総括 ✓ ピース・リスト2023の進捗状況報告 ✓ 次年度に向けた重点取組についての検討

59

【参考2】各機関・組織における主な取組内容等

各機関・組織等	取組内容等
○各課	✓ 推進計画「私たちのピースフル・プラン」の推進 ☞ 「3軸6視点」を踏まえた『ピース・リスト2023』の各取組の実践 ✓ 働き方改革推進関連事業の取組推進
○各教育事務所	✓ 推進計画「私たちのピースフル・プラン」の推進 ☞ 「3軸6視点」を踏まえた『ピース・リスト2023』の各取組の実践 ✓ 市町村教育委員会への支援
○ワーキング・チーム（WT）	✓ 『私たちのピース・リスト2023』の効果的な活用 ✓ 適宜開催（各WTで開催）
○小部会（外部連携部会）	✓ 各機関との推進計画の理解醸成・連携分担・実践 ✓ 適宜開催（WTとも連携し、必要に応じて各課担当も参加）
○作業部会	✓ 推進計画の進捗確認・新たな課題等への協議等 ✓ 年間4回（4月、7月、10月、1月）開催
○本部会議	✓ 推進計画の進捗状況報告、各種決定内容の協議 ✓ 年間3回（6月、11月、2月）開催
■ 備考	
・アンケート関連	✓ 管理職アンケート、学校評価結果集計、ピース・リスト2023取組状況確認（12月～1月） ✓ 長時間勤務者数の調査（4月と10月）
・働き方改革推進関連事業	✓ 随時（次年度に向けた計画立案含む）

60